

村債（借金）の現在高

(3年度末)

道路・橋りょう・公園	4億6,301万円
義務教育施設(小・中学校)	5億8,096万円
農業施設	3億8,619万円
役場庁舎	2億5,002万円
保育所	9,936万円
老人福祉センター	7,200万円
その他	5,994万円
合計	19億1,148万円

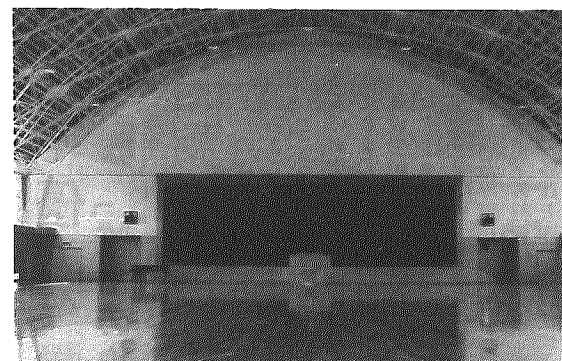
村の台所 お知らせします

中学校体育館を建設

平成3年度 一般会計決算

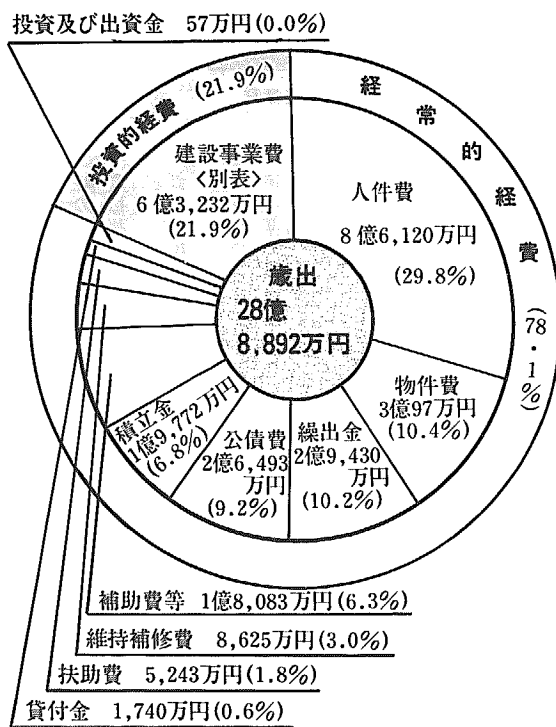
基金の構築なども努力

村のお金がどのように使われ、村財政はどのように運営されているかを、村民のみなさんから知っていただくため、平成3年度の一般会計決算をお知らせします。



新築した横越中学校体育館

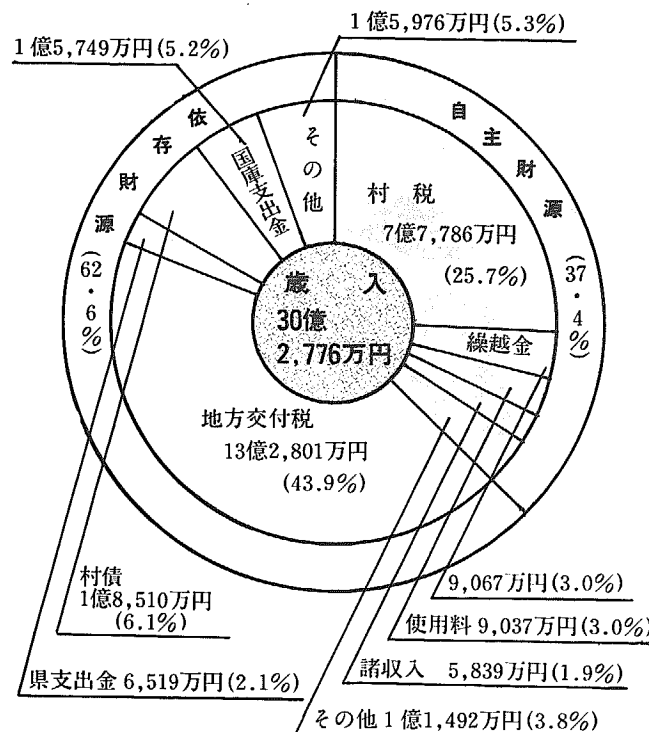
〈表3〉性質別経費



〈表2〉歳出28億8,892万円

教育費	7億1,534万円 (24.8%)
土木費	4億1,986万円 (14.5%)
民生費	3億9,619万円 (13.7%)
総務費	3億607万円 (10.6%)
公債費	2億6,480万円 (9.2%)
諸支出金	2億4,435万円 (8.5%)
農林水産業費	1億8,222万円 (6.3%)
衛生費	1億3,940万円 (4.8%)
商工費	8,059万円 (2.8%)
議会費	7,401万円 (2.6%)
消防費	4,466万円 (1.5%)
労働費	2,143万円 (0.7%)

〈表1〉歳入30億2,776万円



村税の内訳

税目	金額	村民1人当たり
村民税	3億7,702万円	39,017円
固定資産税	3億4,939万円	36,158円
たばこ消費税	3,520万円	3,643円
軽自動車税	1,093万円	1,131円
その他	532万円	550円
合計	7億7,786万円	80,499円

(前年度対比8.0%増)

〈別表〉投資的経費

- 中学校体育館改築事業等 4億5,593万円
- 農産物加工施設、横越新田地区農道整備川根谷内第2地区農道整備補助金 7,586万円
- 消防ポンプ、藤山、駒込防火井戸工事格納庫新設等 1,226万円
- 観光看板、案内板設置 318万円
- 勤労者体育センター外構工事外 1,348万円
- 庁舎駐車場舗装外 328万円
- 道路区画線工事、カーブミラー設置外 306万円
- 砂崩農免道路負担金、二本木新田農免農道負担金、県道路事業負担金、地盤沈下対策事業負担金、溝水防除事業負担金、かんがい農地防災排水事業負担金 6,323万円
- その他 204万円

○村民一人当たり使ったお金 二九八、九六七円 (前年度対比七・七%増)

○村民一人当たり借金残高 一九七、八一四円 (前年度対比一・四%増)

調整基金に一千二百六十万円、減債基金に八百八十一万円を積み立てたほか、体育施設整備基金に一億三千六百八十八万円、社会福祉基金に三千百七十七万円、土地開発基金に四千六百二十七万円積み立てるなど財政の健全化にも留意しています。

次に性質別経費(表3)をみますと、職員給与や議員など各種行政委員の報酬である人件費や公債費などの経常的経費が七八・一%、道路整備などの投資的経費が、二・九%となっています。

おもな内容については、十二月定例議会にて審議され、この決算については、十二月定例議会にて審議され、認定されました。

なお、特別会計の決算については、次号でお知らせします。

教育環境の整備充実などと 財政の健全化にも努力

歳入(表1)をみてみますと、村税などの自分の村で確保できるお金(自主財源)は、三七・四%、これに対して地方交付税や借金(村債)などの依存財源は、前年度より〇・九%減って六二・六%となっています。

三年度末借金残高(一般会計)は、前年度より三千五百九十九万円増加し、村民一人当たりも二千六百五十四円増加しました。

歳出の状況(表2)は、伸び率が三三・二%と一番大きかったのは、教育費で、中学校体育館の建設によるものでした。

全体的な割合を見ても教育環境の整備などの教育費が、二四・八%、道路改良などの土木費が、一四・五%、社会福祉事業の充実、健康づくりを進めている民生費が一三・七%と高い比率になっています。

一方、今後の財政負担や公債費負担に備えて、財政

平成三年度一般会計決算 一億三千八百八十四万円黒字に

平成三年度一般会計は、当初予算二十五億二千八百万円スタートしました。

その後、七回の補正を行い、決算額は、歳入三十億二千七百七十六万四千円に対して、歳出二十八億八千八百九十二万四千円となり、差引一億三千八百八十四万四千円の黒字となりました。

前年度に比べると歳入は、二億六千六百五十一万七千円、歳出は、二億一千三百三十四万五千円それぞれ増え、その増加率は、歳入で九・八%、歳出で八・三%の伸びで、三年度一般会計が黒字になった要因には、地方交付税の伸びや村税などの増収となったことによるものです。

村の財政は、ますます増大する行政需要に対応するため村債(借金)を少しずつ減らしながら財源を積立てるなどして限られた財源の有効活用を努めています。